

大阪ベイエリアのハブ機能を担う、新たなランドマークが本日 3 月 27 日誕生

大阪ベイタワー 「OSAKA BAY TOWER」として再生

大阪ベイタワー合同会社（本社：大阪市港区、代表：山本俊祐）は本日 3 月 27 日（火）、複合商業施設「ORC200」の施設名称を「OSAKA BAY TOWER（大阪ベイタワー）」に変更し、“魅力と活力ある大阪をつくる”一環として、大阪の未来に貢献する新しいポジションへと再生いたします。

旧「ORC200」は 1993 年の開業以来、地域住民の皆様を中心として、関西圏における多くの方々に愛されてきました。現在、大阪ベイエリア（住之江区、西区、中央区、港区、此花区、大正区）は、統合型リゾート（IR）推進や大阪万博誘致など、観光産業や文化、スポーツの振興に向け、大阪キタ・ミナミエリアに次ぐ、新たなニシ＝ベイエリアとして再開発が期待されています。また、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンTM やインテックス大阪、海遊館などの豊富な観光資源を抱え、国内外を問わず多くの観光客が行きかうエリアに成長してまいりました。そしてこの度、さらなる認知拡大と来街者の増加を目指し、新生「OSAKA BAY TOWER」が誕生する運びとなりました。

「OSAKA BAY TOWER」の施設名称は、本施設が位置する大阪ベイエリアの「ベイ」と「OSAKA BAY TOWER」を象徴する約 200m もの高さを誇る超高層「タワー」に由来しています。今後、再開発が期待される大阪ベイエリアの玄関口として観光に軸足をおき、文化やビジネスのハブ機能を担う存在として相応しい名称を採用いたしました。

また再生第一弾として、2018 年 3 月 29 日（木）に株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメントが運営する関西地区最大で全国 6 軒目となるフルサービス型ホテル「アートホテル大阪ベイタワー」のリブランドオープン、さらには第二弾として、総延べ床面積 5,000 坪超の天然温泉を有する関西最大級の都心型温泉テーマパーク「ソラニワ SPA 弁天」を本年度に開業いたします。今後は、オフィスタワーのリニューアルによる新たな企業・団体の誘致なども実施する予定です。

「OSAKA BAY TOWER」は、都会の喧騒を離れ、国内外から訪れる観光客、ビジネス客が日本と大阪の文化的、歴史的な魅力によってリラックスできる、大阪ベイエリアの新たなハブ機能としてのランドマークを目指してまいります。

— 「OSAKA BAY TOWER（大阪ベイタワー）」施設概要 —

【名 称】OSAKA BAY TOWER（大阪ベイタワー）

【所 在 地】大阪市港区弁天町 1 丁目 2 番

交 通：JR 大阪環状線「弁天町駅」北口／地下鉄中央線「弁天町駅」西口より連絡通路で直結

【主な施設】ホテル、オフィス、商業、共同住宅、フィットネスジム、温浴施設（オープン予定）

【延床面積】地下 3 階～地上 51 階建／176,446.92 m²（53,375.19 坪）

【高 さ】200.5m

【運営会社】大阪ベイタワー合同会社（所在地：大阪市港区弁天町 1 丁目 2 番 4 代表：山本俊祐）

【お問合せ先】一般からのお問合せ TEL：06-6577-1384（代）

公式 HP：<http://www.baytower.jp>

— 報道に関するお問合せ —

PR 事務局（サニーサイドアップ内）：安藤（携帯 080-3579-5352）、山本（携帯 080-3535-6993）、池嶋
TEL：03-6894-3200 FAX：03-5413-3050 E-mail：OBT@ssu.co.jp